

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	高齢者・障がい者等居住小委員会	主 査 名：阪東美智子 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：清水 郁郎
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【目的】地域包括ケアシステムの中核であり前提となる「すまいとすまい方」の目指すべき方向性とその対策を検討する。</p> <p>【活動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016 年度：高齢者・障がい者施策の動向の整理 ・2017 年度：高齢者・障がい者の地域居住の現状把握と課題の整理 ・2018 年度：高齢者・障がい者の地域居住の現状把握と課題の整理、 グッドプラクティスの収集、高齢者・障がい者の住宅要件の整理 ・2019 年度：活動成果をまとめた資料 (事例集・ガイドライン等) の作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 (2016 年度当初に 3 名を公募)	
	主査：阪東美智子 (国立保健医療科学院) 幹事：佐藤由美 (奈良県立大学)、西野亜希子 (東京大学) 委員：石井敏 (東北工業大学)、大島千帆 (埼玉県立大学)、岡部真智子 (福山平成大学)、 神吉優美 (奈良県立大学)、金晃敏 (東京大学)、鈴木健太郎 (杏林大学)、富安亮輔 (東洋大学)、 野口祐子 (日本工業大学)、橋本彼路子 (一級建築士事務所 STUDIO3)、橋本美芽 (首都大学東京)、 廣瀬雄一 (大和ハウス工業)、山脇博紀 (筑波技術大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2018 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者・障がい者施策の動向レビュー 新たな住宅セーフティネットの動向を随時情報収集した。 2. 学会内外の関連委員会との横断的な情報・意見交換の実施 社会システム本委員会傘下の住宅の地方性小委員会の活動情報を委員に提供し交流を促した。 3. 高齢者・障がい者等の地域居住に関わる専門家・専門職との研究会の開催 保健師等が中心になって作成した教材 DVD「生活を俯瞰する見取り図の活用—在宅ニーズの把握のために」を委員会で視聴し、意見交換を行った。 4. 高齢者・障がい者等の地域居住に関する先進事例の収集・見学会の実施 神奈川県藤沢市で認定 NPO 法人ぐるーぷ藤と協働し、法人が運営する施設；の見学会を行い、施設職員を交えて情報・意見交換を行った。 5. 公開研究会の企画・実施 上記見学会に合わせて勉強会を実施することとした。施設利用者に配慮し、参加人数枠に制限を設ける必要があったことから、広く公開はせず関係者間の規模にとどめることとなった。 6. 活動成果の公表 活動成果はオンラインストレージ、および本小委員会の活動に賛同・協力する者を含めたメーリングリストを活用し、情報共有を行った。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 催し物の開催に際し、多忙な委員が多い中で早期に準備等を行うのが難しいため、今年度も能力開発支援事業委員会承認企画としての催し物が開催できず、正委員やメーリングリストの参加者を対象とする研究会活動が中心となった。